

学術研究助成者一覧表  
(平成29年度・第26回)

[植物学] 16名

NO	氏名	研究課題	助成金
1	赤井 賢成	沖縄県のサトウキビ畑の深層土壌に眠る絶滅危惧水生・湿生植物の復元生物学的研究	44.3万円
2	海老原 淳	日本産シダ植物に関する分類学的一次資料の網羅的再検討とポータル整備	64.8万円
3	及川 真平	寄生性植物ネナシカズラの嗜好性:ジェネラリストか,スペシャリストか?	46万円
4	香川 聡	年輪の酸素安定同位体比を用いた自然史研究	51万円
5	篠原 渉	屋久島の高山性ミニチュア植物はどこから来たのか? -分子系統地理学的解析に基づく祖先集団の評価-	51万円
6	須貝 杏子	小笠原諸島の在来植生における埋土種子の種構成の解明	70.8万円
7	杉田 典正	植物標本からの非破壊的DNA抽出法の開発	46万円
8	鈴木 三男	西別湿原にヤチカンバはいつから生えていたのか?	51万円
9	東馬 哲雄	屋久島固有種シマコウヤボウキ(キク科)の形態的特徴と開花タイミングの解明	51万円
10	等々力 政彦	世界最南限のハイマツの分布状況と、遺伝学的モニタリング	46万円
11	広瀬 大	マツ科と菌根共生するヌメリイグチ属の本邦における種多様性と系統地理学的パターン	51万円
12	細 将貴	伊豆諸島の植物群における対草食獣被食防衛形質の平行的退化	70.8万円
13	牧田 直樹	樹木根系における種の識別法の確立:生物多様性の役割の解明を目指して	41万円
14	渡邊 謙太	ハワイ諸島産ボチョウジ属植物の性表現と花形態の進化を引き起こした送粉者の解明	51万円
15	樋口 裕美子	イヌヤマハッカ変種群の葉形進化における葉を巻く植食性昆虫ムツモンオトシブミの影響	60万円
16	福富 純一郎	広域的視点に基づくリュウノウギク、ナカガワノギクの自生地と地質の関係について	46万円

[地学] 14名

NO	氏名	研究課題	助成金
1	泉 賢太郎	豊浦層群及び来馬層群に記録されたジュラ紀前期温暖化時の海洋酸化還元状態の復元	48万円
2	木村 由莉	沖縄県の海洋島洞窟から発見された食虫性コウモリ亜化石の絶滅タイミングと飛来起源	48万円
3	高柳 栄子	現生腕足動物殻の微量金属元素に関する基礎的研究	48万円
4	竹田 裕介	紫外線蛍光イメージングで迫る化石頭足類軟体部の解剖組織学	48万円
5	田中 嘉寛	大阪平野の地下から発見されたクジラ化石からさぐる一完新世の日本列島周辺のクジラ相ー	35万円
6	田村 糸子	日本列島300万年の地殻変動史の復元ー大規模火砕流堆積物を手がかりとしてー	48万円
7	對比地 孝亘	恐竜類の尾部骨格にあるとされる水生適応形質の再検討	48万円
8	筒井(石川)牧子	化石および現生貝類を用いた貝殻色素の局在に関する組織学的研究	48万円
9	中村 由克	岩石鑑定による北陸産縄文時代磨製石斧の流通範囲の解明	40万円
10	西岡 佑一郎	中新世の日本海拡大に伴った哺乳動物の種分化プロセス	48万円
11	林 広樹	伊豆「衝突帯」から「沈み込み帯」への進化過程のスナップショット: 平山ー松田北断層帯の意義の解明	40万円
12	丸山 啓志	なぜマイルカ上科は、中新世から現在にかけ左右非対称な頭骨になったのか	48万円
13	LEGRAND Julien	日本の中生代古植生の解明と花粉層序の確立に向けた古花粉学的研究	55.1万円
14	楠 稚枝	三浦半島の三浦層群と上総層群における時計回り回転運動の古地磁気学的探究	56.2万円